

業績ハイライト

経常利益(連結)

352億円

前年同期比 +65億円

預金・譲渡性預金残高

8兆8,329億円

前年同期比 △166億円

有価証券残高

2兆9,323億円

前年同期比 +1,359億円

自己資本比率(国内基準)(連結)

10.63%

前年同期比 △0.60ポイント

中間純利益(連結)

243億円

前年同期比 +45億円

貸出金残高

6兆4,404億円

前年同期比 +4,843億円

預り資産残高

6,949億円

前年同期比 +995億円

格付け

日本格付研究所
(JCR) AA

格付投資
情報センター(R&I) A+

ムーディーズ
(Moody's) A3

株式情報

■ 株式の状況(2025年9月30日現在)

●発行済株式総数 76,655千株 ●株主数 17,265名

■ 大株主の状況(2025年9月30日現在)

氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式(自己株式を除く)の 総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,793	14.42%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,970	7.97%
明治安田生命保険相互会社	3,407	4.55%
住友生命保険相互会社	3,082	4.11%
日本生命保険相互会社	2,623	3.50%

■ 株式のご案内

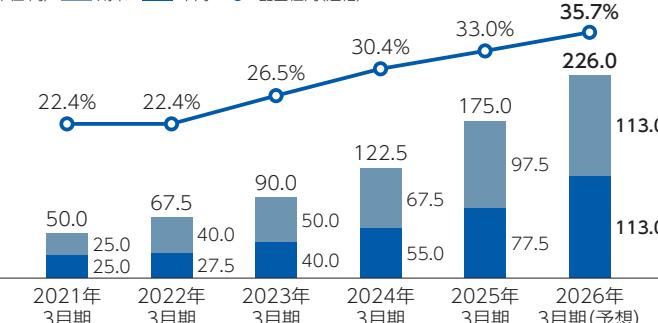
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬(基準日:毎年3月31日)
単元株式数	100株
配当基準日	期末配当:3月31日 中間配当:9月30日
公告方法	電子公告 電子公告による公告ができない場合は、河北新報および日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 https://www.smtb.jp/personal/agency/ ○お問い合わせ先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

◎ 詳しくは当行ホームページ
「株主・投資家の皆さま」をご覧ください。
<https://www.77bank.co.jp/kabunushi.html>



■ 1株当たり年間配当金および配当性向の推移

(単位:円) ■ 期末 ■ 中間 ● 配当性向(連結)



(注)当行は、株主還元方針において、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2025年度までに35%以上に引き上げることとしております。



2025
MINI-DISCLOSURE

七十七銀行 ミニディスクロージャー誌

中間期版

77 BANK

ごあいさつ



代表取締役頭取

小林 英文

平素より七十七銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、国内経済は、各国の通商政策による海外経済の減速リスク等に留意する必要がありますが、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復を続けるものと見込まれます。一方、米などの食料品価格上昇の影響等から消費者物価が上昇し、物価の上昇基調が継続することが予想されるため、動向には十分に注視していく必要があると考えております。

宮城県内におきましては、仙台圏での再開発プロジェクトの進展などに伴う投資意欲の高まりや交流人口の増加など、県内経済を盛り上げる明るい話題が出ております。

このようななか、2030年度までの10年間を計画期間とする「Vision 2030」が5年目を迎えました。現在、中間見直しを行っておりますが、当初策定時に掲げた七十七グループが長期的に目指す「なりたい姿」など、幹となる考え方や方向性は維持しながら、行はに掲げる「地域社会の繁栄」に向か、七十七グループが大きく成長して、地域を豊かにしていきたいと考えております。

引き続き、金融サービスの充実と非金融分野における事業領域の拡大等により、地域と社会の繁栄のため、ステークホルダーとともに、宮城・東北から活躍のフィールドを切り拓いていくリーディングカンパニーを目指してまいります。

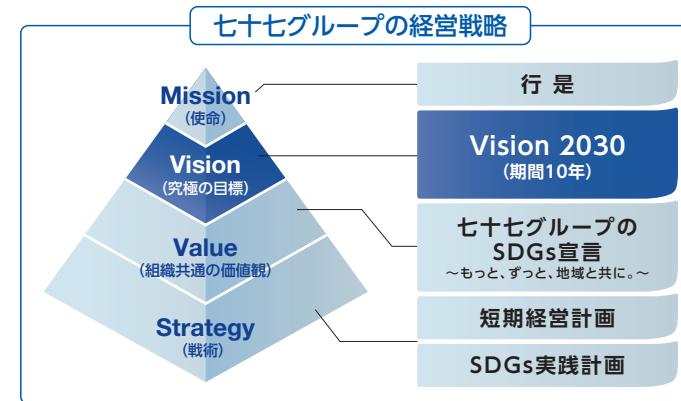
当行の概要 (2025年9月30日現在)

名 称	株式会社七十七銀行
英 文 名 称	The 77Bank, Ltd.
本 店	仙台市青葉区中央三丁目3番20号
創 創 業	1878年(明治11年)12月9日
資 本 金	246億円
従 業 員 数	2,449人
店 舗 数	144(本支店138、出張所6)
総 資 産	10兆3,461億円

Vision 2030

～未来を切り拓くリーディングカンパニー～

行はに記した経営理念（使命）を実現していくために、未来的な七十七グループの姿を描き、グループ役職員が一丸となって前進する羅針盤となるもの、それが「Vision 2030」です。



金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大

金融 × コンサルティング + 非金融 ▶ 最良のソリューション

宮城・仙台圏のポテンシャルと東北全域等の有力な顧客を結ぶネットワークを構築

宮城・仙台圏 × 東北全域等 ▶ 活躍のフィールドの拡大

リーディングカンパニー(同じ志を持った者の集団、地域をリードする企業グループ)へ深化

リーディングバンク × Vision 2030 ▶ リーディングカンパニー

Topics

77ポイントサービスの導入



デジタルサービスの進展やキャッシュレス決済の浸透等が進むなか、お客さまに当行をより身近に感じていただくとともに、お取引のメリットを一層実感いただくため、「77ポイントサービス」の取扱いを2026年4月より開始いたします。七十七銀行アプリをご利用の個人のお客さまを対象に、預金やローンなどのお取引内容に応じて「77ポイント（通称：ななポ）」が貯まるサービスです。貯まったポイントは、共通ポイントのほか宮城県の特産品等に引き換えが可能なデジタルギフト等へ交換いただける予定です。



七十七銀行アプリの
ダウンロードは
こちらから

Topics

福岡法人営業所・さいたま法人営業所の開設

人口減少やマーケットの縮小が顕在化する東北地域の持続的な発展に向けて、福岡県福岡市に福岡法人営業所（2025年12月開設）、埼玉県さいたま市にさいたま法人営業所（2026年1月開設）を設置いたします。広域なネットワーク網の構築により、主たる営業基盤である宮城県を中心とした東北経済圏に「人」や「投資」を呼び込み、東北経済圏と関東・九州経済圏の経済交流の橋渡し役を担うことで、宮城・東北地域の更なる活性化を図ります。

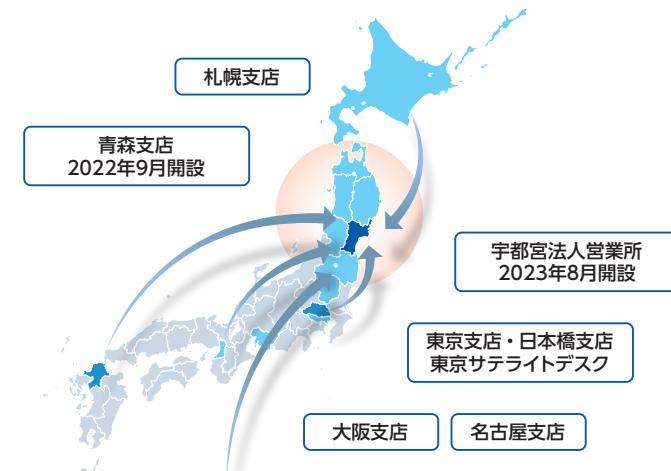
東北地域の持続的な発展に向け広域ネットワークを構築



福岡法人営業所
2025年12月15日開設



さいたま法人営業所
2026年1月13日開設



海外拠点・派遣先等

開業20周年 上海駐在員事務所	2025年4月開業 シンガポール現地法人 <small>N 77 NEXT CONSULTING</small>	アジアハブ NEXT ASIA HUB	インドデスク NEXT INDIA DESK
--------------------	--	------------------------	---------------------------